

貸借対照表

令和2年3月31日現在

(単位:円)

勘定科目	当年度	前年度	増減
[資産の部]			
流動資産			
現金	122,576	81,702	40,874
普通預金	14,237,451	13,896,255	341,196
未収収益	5,388,216	4,939,999	448,217
流動資産合計	19,748,243	18,917,956	830,287
固定資産			
基本財産			
定期預金	20,000,000	20,000,000	0
基本財産計	20,000,000	20,000,000	0
特定資産			
表彰事業引当預金	124,419,975	50,919,543	73,500,432
表彰事業有価証券	220,296,227	463,695,594	△ 243,399,367
法人運営引当預金	5,000,000	5,000,000	0
法人運営有価証券	93,330,000	183,850,000	△ 90,520,000
特定資産計	443,046,202	703,465,137	△ 260,418,935
固定資産合計	463,046,202	723,465,137	△ 260,418,935
資産合計	482,794,445	742,383,093	△ 259,588,648
[負債の部]			
流動負債			
未払金	70,000	0	70,000
預り金	103,207	60,081	43,126
流動負債合計	173,207	60,081	113,126
負債合計	173,207	60,081	113,126
[正味財産の部]			
指定正味財産	93,627,490	137,729,825	△ 44,102,335
(うち基本財産への充当額)	(0)	(0)	(0)
(うち特定資産への充当額)	(93,627,490)	(137,729,825)	(△11,674,997)
一般正味財産	388,993,748	604,593,187	△ 215,599,439
(うち基本財産への充当額)	(20,000,000)	(20,000,000)	(0)
(うち特定資産への充当額)	(349,418,712)	(565,735,312.0)	216,316,600
正味財産合計	482,621,238	742,323,012	△ 259,701,774
負債及び正味財産合計	482,794,445	742,383,093	△ 259,588,648

財務諸表に対する注記

1. 重要な会計方針

(1) 有価証券の評価基準及び評価方法

満期保有目的の債券 償却原価法(定額法)を採用している。

その他有価証券 時価のあるものについては決算日の市場価格等に基づく時価法を採用している。

(2) 消費税等の会計処理

税込方式によっている。

2. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位:円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
定期預金	20,000,000	0	0	20,000,000
小 計	20,000,000	0	0	20,000,000
特定資産				
表彰事業引当預金	50,919,543	100,000,432	26,500,000	124,419,975
表彰事業有価証券	463,695,594	100,564,236	343,963,603	220,296,227
法人運営引当預金	5,000,000	0	0	5,000,000
法人運営有価証券	183,850,000	0	90,520,000	93,330,000
小 計	703,465,137	200,564,668	460,983,603	443,046,202
合 計	723,465,137	200,564,668	460,983,603	463,046,202

3. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位:円)

科 目	当期末残高	(うち指定正味財産からの充当額)	(うち一般正味財産からの充当額)	(うち負債に対応する額)
基本財産				
定期預金	20,000,000	0	(20,000,000)	-
小 計	20,000,000	0	(20,000,000)	0
特定資産				
表彰事業引当預金	124,419,975	(1,850,000)	(122,569,975)	-
表彰事業有価証券	220,296,227	(86,777,490)	(186,328,737)	-
法人運営引当預金	5,000,000	(5,000,000)	0	-
法人運営有価証券	93,330,000	0	(40,520,000)	-
小 計	443,046,202	(93,627,490)	(349,418,712)	0
合 計	463,046,202	(93,627,490)	(369,418,712)	0

4. 満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益

満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益の内訳は、以下のとおりである。

(単位:円)

科 目	帳簿価額	時 価	評価損益
一般法人運営有価証券			
日興証券 ユーロ円他社株転換債	40,520,000	40,520,000	0
合 計	40,520,000	40,520,000	0

5. 指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳

指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳は、以下のとおりである。

内 容	金 額
経常収益への振替額	
原田研究奨励賞費充当による振替額	1,850,000
特定資産評価損益等への振替額	
該当なし	0
合 計	1,850,000

6. 関連当事者との取引の内容

該当なし

財務諸表に対する注記

7. 重要な後発事象

該当なし

8. その他公益法人の資産、負債及び正味財産の状態並びに正味財産増減の状況を明らかにするために必要な事項 (金融商品の状況に関する事項)

(1) 金融商品に対する取り組み方針

当法人は、法人運営の財源の大部分を運用益によって賄うため、債券、株式、デリバティブ取引を組み込んだ複合金融商品により資産運用する。

当法人が利用するデリバティブ取引は、デリバティブを組み込んだ複合金融商品(仕組債)のみであり、投機目的のデリバティブ取引は行わない方針である。

(2) 金融商品の内容及びそのリスク

投資有価証券は、債券、株式、デリバティブ取引を組み込んだ債券(仕組債)であり、発行体の信用リスク、市場リスク(金利の変動リスク、為替の変動リスク及び市場価格の変動リスク)にさらされている。

(3) 金融商品に係るリスク管理体制

① 資金運用規程等に基づく取引

金融商品の取引は、当法人の資金運用規程及び財産管理規程に基づき行う。

② 信用リスクの管理

債券及び仕組債については、発行体の信用情報や時価の情報を定期的に把握し、理事会に報告する。

③ 市場リスクの管理

株式については、時価を定期的に把握し、理事会に報告する。

仕組債については、株式相場及び為替相場の状況を定期的に把握し、理事会に報告する。

附属明細書

1. 基本財産及び特定資産の明細

基本財産及び特定資産について財務諸表の注記に記載をしているので、記載を省略する。
記載を省略する。

2. 引当金の明細

該当なし